



さんさんネット企画 合同作品展 「さんきゅーあーと展」を開催します！

さんさんネット部会の報告にもありますが、障がいのある方の社会参加の推進および地域の方の障がいへの理解が更に深まるよう、そしてコロナ禍における仲間や人々の交流を目指して、合同作品展「さんきゅーあーと展」を開催することになりました。

初めての企画ということもあり、今回は就労支援や地域活動支援センターなどの事業所を中心にご案内をさせていただき、多数のご応募をいただいています。

また、開催期間中に来場された方にもご参加いただいて、共同作品「希望の丘(仮名)」を制作する企画も予定しています。より多くの方にご来場いただけるよう、地域の皆さまにもご周知いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、「さんきゅーあーと展」の開催に向けて一緒に活動していただける方も募集しています。参加していただける方がいらしたら、協議会事務局までご連絡ください。

『さんきゅーあーと展』 ～さん・さんスマイルコレクション～

開催期間：令和4年1月17日(月)午後1時から 1月28日(金)正午まで

開催場所：千曲市役所 1階 ガレリア

内容：個人作品・事業所作品・共同作品

※ 展示室(マルチルーム)内の作品鑑賞は、平日の8時半から17時15分までになります

【問い合わせ】 千曲・坂城地域 自立支援協議会事務局
千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター
TEL 026-275-0548 FAX 026-214-3013

2021年7～9月に行われた事業所連絡会等の報告

第2回事業所連絡会 (令和3年8月31日)

【報告】

- ・元自立支援協議会 会長 湯原氏の訃報について
6月11日に87歳でご逝去、8月4日にお別れ会がおこなわれた。
長年にわたり地域の自立支援協議会、利用者さんのために頑張られた。
湯原氏は、つねづね「利用者第一に考えてほしい」と言われていた。
- ・篠ノ井橋病院 その後の状況について
4月7日コロナ発生し、6月28日収束した。リベルファも同日午後から約3か月間封鎖し、7月5日よりデイケアを 時間短縮して再開した。
“支援がリベルファのみ”のメンバーが浮きぼりになったことで、地域連携の大切さを改めて実感した。
デイケア職員2名が病棟に入り、現場で感染対策を学んだうえで再開。感染経路、媒体がどこにあるかわからない状況で、ウイルス遮断のためには封鎖する手段しかなかった。
コロナ発生に伴い、自立支援協議会に早急な協力体制を整えていただき、基幹相談支援センターや各事業所にもご協力いただけたことに感謝している。



第2回 事業所連絡会 (続き)

【協議事項】

①相談支援部会から ～ 相談支援の現状について ～

ここ数年こどものサービスが充実して事業所が増え、児童のプラン作成がH28年度と比べてR2年度では約2倍増加した。障がい児相談支援計画を作成できる事業所はあるが、児のプランナーが少ない(兼務が多い)。児童の計画を中心におこなっている事業所に偏ってしまい、市外事業所をお願いしていかざるを得ないひっ迫した状況。事業所側でも、小学校高学年の子に対して“自立度を高めていく意識”、“サービスを必要以上に増やさない”等の視点をもつことができれば、相談支援専門員の負担軽減にもつながるのではないかと。

各事業所の所長さんに、現状のご理解、ご検討をお願いしたい。

②全体会について

Webで関係者を対象としておこない、案として(湯原会長の追悼)、(協議会の歴史とこれからの協議会に向けて)の内容があげられている。

開催時間が短く、準備に限られる。他にも、パラリンピック開催年なので(パラの出場経験ある方)や医療と福祉の連携を行っている(訪問看護事業所)等の話をお聴きするなどの案も出ている。

③権利擁護研修について

今年度は、坂城町社協にお願いする予定。セミナーや課題、権利侵害になりそうなこと等基幹を通し検討する。

④地域生活支援拠点を担う事業所について

長野県自立支援協議会 第2回障がい者支援体制機能強化会議があった。相談支援体制の強化と地域生活支援拠点に伴う加算、そのためには市町村・県に届出を要する。拠点機能を担う事業所の登録確認方法は協議会を通して周知しているが、加算や手順等が複雑なため、福祉課に問合せご確認願いたい。



第2回 運営委員会 (令和3年9月14日)

【報告】

- ・元自立支援協議会 会長 湯原氏の訃報
- ・第2回事業所連絡会開催報告
- ・こころ支援部会(事務局より)

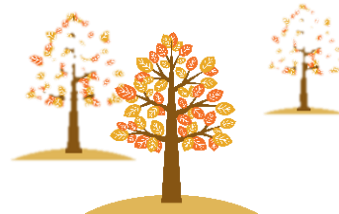
今年度中に〔精神障がい特化した検討の場〕の設置を目指し検討する。

部会とは別組織で、正副部会長、行政、事務局に医療・福祉・地域の関係機関・当事者を含めて考えていく。

- ・事務局より

次回運営委員会の開催時間 変更 R4年3月15日(火)13:30～ ⇒ 同日 AM 10:00～

(開催方法は追って連絡)



【協議事項】

1. 相談支援部会から相談支援の現状について

『指定特定相談支援・指定障害児相談支援の体制確保について(お願い)』を各法人へご検討いただくよう依頼。(事業所連絡会 協議事項①を参照)

2. 千曲・坂城地域自立支援協議会の体制について

①協議会組織図

『自立支援協議会 組織図 再編成(案)』について説明。

“地域調整連絡会”を“地域連絡会”にするなど、誰が見ても分かりやすいよう工夫して再編成。

②運営委員会構成メンバー

『運営委委員 構成員(案)』を確認。前回意見を反映し組織図を編成した。

当事者・家族会・民生委員などは千曲市坂城町から選出し、新規法人等あればご参加いただく方向。

③来年度以降の協議会 会長職について

一人に長期で担わせず、2～4年で再任なしにするなど、色々な考えを取り入れる。女性の比率を考慮。

オブザーバーに、他圏域の会長職の状況について情報を提供いただくなどの提案を受けた。

このことをふまえ、事務局一任で検討予定。

3. 全体会について

開催するには限られた時間の中で関係者の意向を確認し準備する必要がある中で、開催の意見が多数あった(関係者のみの場合)。一方、反対意見として、当事者や関係者も参加できる方法を模索して欲しい、どうしたら多くの人に見てもらえるかも含め検討されたいという意向もあった。



2021年7～9月に行われた部会の報告



主にZOOMによるWeb会議（話し合いを要する部会は集合形式）で行いました。
各部長さんからの部会報告です。

【 相談支援部会 】

コロナウィルスの感染状況に合わせ7月の部会はふれあい福祉センター、9月はWeb会議にて開催いたしました。協議事項として「相談支援事業所の現状」についてグループワークを中心に話し合いをおこない、日々抱えている課題や悩みについて意見交換を致しました。

現在、相談支援事業所の事業所数や相談支援専門員の人数が不足しているのが現状で危機的な状況にあります。協議会全体の課題として今後検討していただき、利用される皆さんが安心してサービス利用が受けられる体制づくりに努めていきたいと考えております。



【 就労部会 】

今年度、2回目の就労部会が7月に開催されました。2回目の就労部会では稲荷山養護学校進路担当の先生から就労アセスメントの流れについての説明がありました。来年度の就労アセスメント対象者が15名と人数が多いですが、例年通り3年生時の実習期間中にアセスメントを実施していく予定です。

また、令和3年度の報酬改定に伴う、各事業所の方向性や傾向、課題点を部会内で共有させていただき、今後も障がいのある方の働きたいというニーズに応えられるよう部会内で検討を続けていきたいと思っております。

【 さんさんネット部会 】

なかなか終息をみないコロナ禍の今、各事業所独自の活動も出来ず、さんさんネットの目指す仲間の交流を何かの方法で…と話し合い、初めての試みで合同作品展を企画。

7月には名称・開催期間・展示場所を決めました。

○名称：各事業所の仲間たちからの応募によって「さんきゅーあーと展・さんさんスマイルコレクション」に決定。

○期間：令和4年1月17日～1月28日

○場所：千曲市役所内「ギャラリー」（予定）

8月・9月にかけては場所も確定し、合同作品のテーマ・作品の大きさ等順次決定。

募集要項を対象事業所に発送することが出来ました。

【 こども部会 】

「こども部会は7/14(水)に第2回、9/8(水)に第3回目の部会をオンラインで行いました。

第2回は第2期障害児福祉計画の「保育所等訪問支援を利用できる体制の構築」と「重症心身障がい児支援」について、それぞれの制度・仕組みの確認及び情報共有と検討を行いました。また、「放課後等デイサービスの利用状況について」という内容で、利用を希望する児童が困らないよう各事業所の空き状況を確認しました。

第3回は長野市で保育所等訪問支援を行っている篠ノ井愛の樹園の加納さん、重心指定を取って放課後等デイサービスを行っているこすもけあくらぶの久保さんにご参加いただき、事業の内容や今後の課題などをお聞きしました。先行き不安だったところから少し脱した感はありますが、実際にその体制が構築されるまでにはまだまだ壁は高そうです。参加して下さる皆さんの情報やご意見・ご指摘を大事にしながら課題解決に向けて動いていきたいと思っております。」

【 生活支援部会 】

グループホーム、居宅介護、それぞれの事業所の関係者に集まって頂いての部会を開催することができました。どちらの部会でも、感染症対策の方法や日々の利用者さんとの具体的なやり取りの仕方、また、人材確保や職員間の引継の方法、各事業所の研修スタイルといった、現場の課題について積極的な情報共有を行うことができました。

参加された皆さんからは、「他の事業所の様子を知れてよかった」との感想です。事業所間でのつながりの必要性を強く感じました。

【 こころ支援部会 】

皆さんこんにちは。こころ支援部会です。

「包括ケア」の構築に向けて、運営作業をしていく「協議の場」に参加していただく「医療」「福祉」「地域」の代表者を選定しています。

なるべく、公平に代表意見として集約できる立場の方になっていっていますが、発進していく事も大切と思っております。メンバーの交代や増減もニーズに合わせて行っていきます。

その他、ピアサポーターの取り組みの実際を伺いました。貴重なお話であり、包括ケアの中心となっていく部分です。継続的に話を伺っていきたく思っています。

部会長さん、ありがとうございました！！



当事者さんのリアル ～ Sさんのおはなし ～

当事者さんの紹介をしたいと思います。《さん・さんネット部会 当事者メッセージのコーナーより》

Sさん（60代）男性

僕は生まれて3か月で高熱が出て、脳性小児麻痺にかかってしまいました。

中野で生まれ、丸子で育ち、学校は今の稲荷山医療福祉センター、昔の稲荷山療育園に18歳までいました。

卒業後は、群馬県高崎市にある『国立コロニーのぞみの園』に56歳までいました。のぞみの園には、全国から障がいの人たちが550人もいて、病院・作業所・訓練所などいろいろな施設が入っていました。そこでパソコンを教えてもらって覚えました。名刺や年賀状、職員の頼まれ物を作っていました。

40代になったある日、転んで首の頸椎を痛め首の固定手術をしました。半年間入院をし、怪我で歩けなくなってしまったため、退院後はのぞみの園に戻り電動車いすの訓練をしました。

その後、町のグループホームに3年くらいいて、のぞみの園で地域移行が始まったので、稲荷山に帰ってきました。帰ってきてからは、いなりやま福祉会のグループホーム『たんぼぼの家』で6人で暮らしています。3年くらい前までは、『満天の星』に毎日通ってパソコンの仕事をしていました。今は生活介護『はなたば』で、パソコンや千曲化成の下請けの仕事（ポリタンクのフタにパッキンを入れたり、数を数えたり）をしています。

コロナが流行る前は、はなたばのみんなであちこち出掛けてお昼を食べに行ったりしていたので、早くみんなであちこち出掛けたりしたいです。パソコンの仕事も減ってしまったので、名刺や年賀状を作るときは是非僕にやらせてください。よろしくお願いします。

《事務局より》 質問コーナーでは、故郷に戻ってからの生活について聞かれ「初めは戸惑ったりもしたけれど、自由があり懐かしい感じがした」とおっしゃっていました。また、仲間と行く外食が楽しみというお話があり、何を食べにいくのが好きですかと質問されると「カウンターから出てくるお寿司」と笑顔で答えてくださいました。

パソコンはExcelもWordも使いこなして、職員からも大変頼りにされているとのことでした。

地域で自分らしく暮らされているSさんの様子がとても伝わりました。

初めてのZoomでとても緊張されていたとのことですが、沢山の素敵なお話を有難うございました。

コロナが落ち着いて、早くカウンターのお寿司を食べに行けるようになると良いですね。



～ お知らせ ～

◎ 11月に予定しておりました全体会につきましては、1月の開催を予定しております。

《 移転 / 新規事業 》

わっこ自立福祉会（訪問介護事業所）

（千曲市桜堂429番地 へ移転。）

『グループホーム りぼん』 11月1日(月)開所

《 移転 / 新規事業 》

訪問看護ステーション はるかぜ

（千曲市寂蒔103-1 へ移転。）

『はる風サロン みんなの縁側』（無料相談事業）開所

※ 詳細は各事業所へお問合せ願います。

今後の協議会関係 予定

10/26	13:30	さんさんネット部会
10/28	10:00	相談・就労(合同)部会
11/10	10:00	こども部会
11/15	14:00	こころ部会
11/16	9:30	生活部会
11/25	14:00	就労部会

事務局発行：千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター TEL：026-275-0548 FAX：214-3013

HPIはこちら⇒ cs-soudan.jimdofree.com

Mail：cs-soudan@bh.wakwak.com

